

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			室内は段差のないフラットな環境になっております。児童の特性に応じた環境づくりを心がけ、予定表や手帳表を掲示したり、片付け場所を写真で可視化したりと配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7		児童が生活する空間は、温かいくつろげる場となるように、環境整備や日々の清掃をおこなっております。また、児童の特性や活動内容に合わせて空間を分け、児童がいきいきと活動できる場となるように配慮しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		児童の心身の状態に合わせて、個室やパーティションを使用し、安心して過ごすことができる環境設定をおこなっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		定期的なミーティングやリフレクション会議等で職員間の情報交換や共有を図り、全職員で児童の課題の把握、目標設定、振り返り等をおこなっております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し、業務の改善に努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々の支援会議やリフレクション会議等での職員間の意見交換の時間を大切にしております。すべての職員で情報を共有し、よりよい支援が行えるように努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内では年間計画に沿った定期的な研修を実施しております。社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的なアセスメントをおこない、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また、関係機関とも連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援会議を開催し、職員間で情報共有や意見交換をおこなっております。児童の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、検討をおこなっております。	
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画の目標や内容について職員間で共有し、計画をもとに日々の療育や活動内容を考え、支援をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを活用したうえで、日々の児童の様子も踏まえて的確な状況の把握に努めております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童やご家族の意向とアセスメントを踏まえて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」での達成目標と支援内容を計画に記載しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童の特性や課題を職員間で共有し、共通理解のもと、一人ひとりの目標に応じた課題や、季節に合ったプログラムをチームで立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		支援計画に沿って、児童や保護者様のニーズに応じた活動ができるよう、各職員がそれぞれの専門性を生かしたプログラムの立案をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の特性や状況に応じて、個々の成長を支援する場面と、集団の中で社会性を育む場面の両面から計画を作成し、支援をおこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		前日の振り返りをもとに、支援開始前に打ち合わせをおこない、支援内容や役割分担の確認をおこなっております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場面もありますが、連絡ノートを活用したり、翌日に振り返りをおこなったりすることで、活動中に気づいた点などの情報を共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の療育内容や生活面での気づきを経過記録に残すことで、情報を共有し支援の改善に繋がっております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月以内には必ずモニタリングを実施し、保護者様のご意向を踏まえて児童の現状を把握したうえで計画の見直しをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		担当者会議には児童の状況や保護者様のニーズを一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関と連携を図り、統一した支援をおこなえるように努めております。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		児童の特性や支援内容について関係機関と情報の共有を図り、円滑に支援が引き継がれるように努めております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		担当者会議や相談支援員さんを通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援が一貫されるように努めております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	7		現時点では地域の児童発達支援センターとの連携の機会を持っておりません。	今後、研修等に参加し連携を図ってまいります。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		現時点では、交流の機会を持っておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討をおこなってまいります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		ご家庭の様子を尋ねながら一人ひとりの発達に合わせて支援が提供できるよう努めております。日々の様子などは、連絡帳のやりとりや送迎時に保護者様との情報交換をおこない、児童の現状や課題について、共通理解を深めております。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現時点では、実施できておりません。	今後、保護者様からのご要望がありましたら検討してまいります。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時には児童発達支援管理責任者が分かりやすい説明を心がけ、変更等があった際にはその都度改めてご説明しております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		計画作成の際には、事前に児童本人や保護者様のご意向をうかがい、目標や内容の確認をしております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		支援計画ができた際には、児童と保護者様に計画書を示しながら、目標や支援内容の説明をおこない、児童と保護者様に同意をいただいております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳でのやりとりや送迎時、また事業所内相談等を通して、保護者様からのご相談やお悩みを丁寧に聞き、助言やアドバイスをおこなっております。職員間で共通理解を図り、保護者様が安心してご相談いただけるような環境づくりにも努めております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現時点では父母の会や保護者会等は開催できておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討をおこなってまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れに対しては、迅速に対応しております。	7		保護者様からのご相談や申し入れに対しては、迅速に対応しております。全職員が共通理解をもち、保護者様や児童に安心してご利用いただける環境づくりを目指しております。	
	41 定期的に通信発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式WebサイトやLINE公式アカウント等でブログの更新や事業所の様子をお伝えしております。また、年4回季刊誌を発行しており、日々の様子は毎月の事業所カレンダーに掲載しております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者などの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童の特性や状況に合わせて分かりやすい手段での情報伝達に努めております。保護者様にも丁寧に伝わりやすい表現を心がけております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	7		今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	保護者様のご意向も伺いながら、いたうえて、児童と地域住民の方が一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。
非常時の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見えやすい場所に掲示しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、計画に基づいて定期的に研修や訓練をおこなっております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で情報共有しております。薬の変更や予防接種を受けた場合など、都度状況をおうかがいし、日々の様子の共有をおこなっております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7		保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で情報共有しております。また定期的に状況確認をおこない、情報を更新したり、室内の状況確認に認したりして、全職員の周知に努めております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、計画に基づいて定期的に研修や訓練をおこなっております。また、点検担当者を決め、チェック項目をもとに毎月の点検をするともに、清掃時には日々の点検もおこなっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画及び安全に関する取り組みの内容について周知しております。また緊急時の避難経路や避難場所、引き渡し手順について保護者様と共有し、安全確保に関して円滑な連携が図られるよう努めております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しております。ファイルで保管し、事例について振り返りをおこない、再発防止に努めております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に職員研修や虐待防止チェックリストを実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めております。社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めております。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うについて、組織的に決定し、児童や保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		原則として身体拘束はおこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要な場合には、組織的に判断したうえで、事前に保護者様へ十分に説明し、承諾を得て、児童発達支援計画に記載することとしております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。